

# 那須平成の森

## 見方が変わる！ インタープリターオススメの「春」



### 「葉の影」

晴れた日には木の根元から葉を見上げてみませんか。葉脈や重なり合った葉の影、時には葉の裏にいる生き物の影…様々なものが映り込みとても面白いです。また葉に意識を集中させて見てみると、普段は気付きませんが、風で影が揺らぎとても幻想的！春先の葉は柔らかく薄いので葉に映り込む様々な影を見るなら春がお勧めです！（吉田）

### 「雪が解け、春がやってきた！！」

#### ビロウドツリアブ(ハエ目ツリアブ科)

早春の森ではあちらこちらで可憐な花が咲き、大きさが1cm内外の小さな昆虫が飛び回ります。ずんぐり体型の可愛らしいアブが花から花へと長い口（口吻(こうぶん)）をのばして蜜を吸う姿は、まるで森の花々と春について会話しているようです。季節毎に出現する小さな虫たちもじっくりと観察すると楽しいです。（豊口）



### 「森の中の甘い香り」

雨が多くなる時期、森に広がるアジサイの花々。この時期には「森で甘い香りがしたけど、なんの香り？」と散策帰りの方に聞かれることも。その正体はコアジサイ。淡い青紫色の小さな花が線香花火のように広がり、ほのかに甘い香りを放ちます。コアジサイの香りが広がる雨の蒸した森の中、足を止めると心がすーっと落ち着いてきます。そんな花の味わい方もたまにはいかがですか？（小西）

## 調査・モニタリング報告

2月8日(水) くもり 環境省上部ゾーンセンサーカメラ回収に同行



▲スノーシューでも進むのが大変

インタープリターも入る機会はほとんどない、標高 1400m付近の那須平成の森の「上部」ゾーン。そこで行われた環境省の調査に同行しました。積雪 1m以上の中、スノーシューを使って森の奥へ入ると、そこはまさに茶臼岳の麓。噴火による溶岩の流出で削られた谷があり、なんと！硫黄ガスが噴出していました。

茶臼岳山頂部で見られる景色と同様に、地面の熱で雪が解け、硫黄泉の匂いが広がり、笹も噴気孔を避けるように生えていました。

「山と森はつながっている」という事を再認識しました。(丸子)



▲硫黄ガスが噴き出る岩肌、まさに温泉の匂い

## 1月 「スノーシューで歩く新月の森」

山に太陽が沈む様子を眺めてから森へ歩き出します。今回は夕暮れから夜に変わる時間がメイン。時間が経つにつれ、空の色は白から紫色、そして澄んだ群青色へ変わっていきます。辺りが暗闇になると見えだす、満天の星空。参加者の方は、「今まで意識しなかった時間帯で、初めてみた景色があった」とそれぞれ静かに楽しんで過ごされていました。(小西)



## 2月3月 「満月の森スノーシューハイク」



実施した2回とも天気に恵まれ、  
美しい月が見られました。

シンと静まる夜の森で、耳を澄ませ、目を凝らし、想像力を膨らませれば、樹のシルエットが何か別のものに見えたり、自分ではない他の生きもの（妖精？）の気配を感じ取れるような気がします。

普段は自然科学要素を取り入れ、活発に動いて観察する方が得意な私も、今回はしっとりとした感性を開くプログラムへ個人的にチャレンジ！感性を研ぎ澄ませる、



ほんのちょっとしたのびがあれば、素敵な雰囲気  
に溶け込みます。そこに言葉は多く必要  
ありません。

一番気がかりであった気候にも恵まれ、  
風は穏やか、満月も綺麗、最高のコンディ  
ション！今回は定員を上回るお申し込み  
を頂き大好評でした。また来年の冬、ナイ  
トプログラムをお楽しみに！（中島）



## 「ティーチャーズガイド」 完成しました



小中学校や教育団体に向けて、園内の散策・学習にご活用いただけるティーチャーズガイドを作成しました。自由散策ルート上で見られ、那須平成の森を構成する重要な要素であるミズナラ、水源、ツツジについて解説をつけました。さらに、子どもたちが主体的に学ぶ「アクティブラーニング」の要素も充実しています。

那須平成の森ホームページのトップ（目次上部分）のバナーから無料でダウンロードできます。ぜひ、学習計画にお役立てください。

## 環境省 平成 28 年度国立公園満喫プロジェクト事業

### 「日光国立公園 ガイド技術研修」が 那須平成の森で実施されました



3月3日(金)  
4日(土) <3日間>  
5日(日)



日光国立公園や那須地域で、地域の自然・歴史・文化の素晴らしさや面白さを分かりやすく伝えていくための手法や考え方を学ぶ研修が実施されました。知識や技術を知るだけでなく、体験したことから学び、研修後半ではガイドプログラムの企画・実践まで自分たちで作りあげました。参加者各々に新たな気づきがあったようです。(矢吹)